

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人砥部寿会	代表者	菅原哲雄	法人・事業所の特徴	介護者家族の、皆さんと連携して、自宅で生活する利用者様の 24 時間 365 日を意識した個別ケアを提供する。
事業所名	小規模多機能ホーム あったか	管理者	西岡佳代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	0人	3人	0人	1人	5人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			事業所評価の内容を十分に理解すること、地域かかわりシートへの回答は、解答者によって事業所を訪れる頻度、捉え方の相違もあり難しいのではないかな。	<ul style="list-style-type: none"> 事業所評価について、配布時に事前説明を行う。 地域かかわりシートの設問内容について、日頃の運営推進会議での議論のテーマとして活用する。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> いつ来ても気持ち良いと感じている。入りにくいと思った事はない。しかし慣れている家族とそうでない家族では、感じる差があるかもしれない。 住宅街であるため、初めて訪れる人にはわかりにくいかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の雰囲気大切に、環境の改善を常に意識する。 家族アンケートを継続、ご家族の意見を汲み取るとともに、工夫点について写真資料などを元に具体的にご理解いただける工夫をする。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> 事業所の情報が地域で十分に浸透していないのではないかな。 自分たちの生活は事業所があって成り立っていると感じている。協力できることはしたいと思うので、事業所をもっと呼びかけても良いのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の情報をもっと発信して行事等をきっかけに家族様や地域の方が訪れやすい工夫をする。 さらに多くの住民の皆さんにご来所いただくために、事業所の広報活動にも力を入れる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			本人、家族が地域と深く関わりたくないと考えていることもあるのではないかな。そのような場合は、どのような関わり方を考えているのか。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者と共に地域の行事やイベントに積極的に参加する。 利用者以外のご近所の心配な方、その他地域課題についてもご相談できることを知っていただくために、現在の取り組み事例を運営推進会議に報告する。
E. 運営推進会議を活かした取組み			個人情報問題もあるが役場、地域、家族、事業所の職員で可能な範囲の情報を共有する必要があるのではないかな。	各職員が、運営推進会議の役割について理解を深めるとともに参加メンバーとの情報共有を図るため、介護従事者も交代で参加する。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> 利用者の個人情報がわからなければ非常時に地域住民が助ける時に困るのではないかな。 非常設備の具体的な説明や避難訓練実施日等を教えてもらえると参加、協力範囲が広がるのではないかな。 	事業所の防災計画、非常災害設備の状況、避難訓練の実施予定等について、書面にわかりやすくまとめ、家族様や運営推進会議のメンバー及び近隣住民に配布する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 19 日 (18 : 30 ~ 21 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	12	1	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	14	1	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	11	2	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10	3	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者台帳や申し送りノートを確認しミーティングにおいては家族様の言葉や本人様の言葉を記録として残した物を確認しながら情報を共有する事が出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運転が出来なかったり、時短での働き方をしている職員は、直接家族とやりとりする機会が少なく個々の利用者の不安や配慮について捉え方に差がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
・利用開始の時に家族様と本人様に早く慣れて頂く為に職員全員の名前と写真の入ったカードを作成しお渡しする。
・運転出来ない職員も家族様が来所時には、直接やりとりをする機会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 19 日 (18 : 30 ~21 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	6	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	6	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	8	0	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	9	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者の～したい (言葉や態度) そういう気持ちが出しやすい感情を出しやすい雰囲気や環境作りが出来る。
- ・看取り期における A さんの生活歴や本人の言葉を把握しニーズである「踊りをみんなと踊りたい。」という思いを看取り期の中で支えて職員みんなで思いを共有し実践出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・例えば、利用者が慣れない環境で不安になり落ち着かれないとその部分にばかり意識がいきってしまい本人の～したいという生活を支える事や思いを十分にくみとれない。
- ・職員一人一人の利用者のゴールについて話すと感じ方に差が出てしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・落ち着かれない場合にはカンファレンスを開いてその方のニーズの原因を探る。～したいという思いを意識できるように話合う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 19 日 (18:30 ~ 21:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	4	10	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	11	0	1	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	6	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	12	1	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">利用者お一人お一人食事・排泄・入浴・健康状態について日々継続的な情報を確認する表がある。それに基づいて一人一人に合った介助方法を整理している。毎日の利用者様の様子を必ず写真に撮って残す事で勤務でない日の様子についても視覚的に確認を取り情報の共有が出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">職員は、情報は知っているが情報と人がつながっていない。つなげて活用する話し合いを持っていない。訪問対応をする職員としない職員とで利用者の(自宅での)状態把握に差ができてしまったため。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">職員同士で話し合う機会を設けて利用者一人一人の生活歴等理解を深める時間をもつ。訪問対応が出来ない職員に対しても自宅へ同行するなどの機会を作り状態把握に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27年 10 月 19 日 (18: 30 ~21: 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9	5	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	10	2	1	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	9	4	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	7	7	1	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・通いや訪問時間でない時間に関しては家族や隣家の住民に協力依頼をして情報収集につとめている。
- ・地域との関係を途切れないうための支援として以前に活動していた高齢者地域サロン活動への参加を小規模通い利用時に参加出来るように支えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・新規利用者に関しては、地域の資源と本人様との関係性を十分に把握が出来ていないためどのような資源が必要かつかめておらずその資源を見つける事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・利用者本人にとって今何の資源が必要か知る為にエコマップを作成していく。
(現行の利用者に対しても順次作成していく)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 19 日 (18:30 ~21 :00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	9	2	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	8	0	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8	3	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	11	1	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者自身を支えている家族（妻）、小規模だけでなく妻を支える居宅介護支援事業所と通所介護事業所との連携を密に取り、行事や外出を一緒に企画し実行できている。
- ・利用者が暮らしている地域の近所の住民や民生委員からの情報や連絡を元に訪問をして本人の状態変化に合わせて通いへ変更するなど支える事が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・関わる職員の経験の差や利用者のどの部分を観察するかのポイントが伝えきれておらず利用者の変化に気付いていない時がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・どの職員が関わっても差が出ないようにするために利用者の病状・顔色・健康状態などの情報を共有する仕組みを作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 19 日 (18: 30 ~21:00)

6. 連携・協働

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	8	3	2	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	9	3	1	15
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	5	7	1	2	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	11	0	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・事業所敷地内にコミュニティスペースがあり、地域住民 (子育て支援団体・地域サロン活動団体) が活用できる環境を提供している。日常的に地域住民が訪れるため利用者も職員も自然に触れ合う事が出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職員の大半が地域外から勤めており職員にとっての地域となりにくい。職員に地域の情報が伝わりにくい為活動やイベントに参加出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・一部の職員だけでなく (職種に限らず) 地域の諸行事や会議に積極的に参加し、つながりを深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 19 日 (18:30 ~21:00)

7. 運営

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	5	7	0	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	3	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	3	1	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	11	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 家族アンケートを実施した結果、登録22名中21名の利用者からの返答を頂いた。その内容において本人や家族のその時々々の状況や要望に応じて柔軟に対応してくれていますか?の項目に19名の方からよく対応してくれる、2名の方から対応してくれるとの返答を頂いた事から意見を反映出来ている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 職員によっては、派遣や時短という働き方をしている事に対して意見を言いにくいとの思いがあり意見を言う事をためらっているため意見が言えていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 職員が自分の事業所に対して働き方等で発言をためらう事のないよう意見交換会を設けたり面談をして意見をすいあげる体制を作る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27年 10 月 19日 (18:30 ~21 :00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7	7	1	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	5	2	2	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	7	6	1	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	9	1	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・日頃からヒヤリハット報告書を書いて報告する事ができその内容をいつでも確認できる所に置いているので職員に周知できている。 ・法人として資格取得やスキルアップに対してのサポート体制が整っているため研修や資格に対して職員が前向きに取り組んでいる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所内や法人内外の研修には積極的に参加できているが、地域の連絡会に参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域連絡会へ参加しその情報をミーティング等において報告し職員へ周知出来る仕組みを作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 19 日 (18:30 ~21 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	6	0	0	15
②	虐待は行われていない	9	6	0	0	15
③	プライバシーが守られている	3	12	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	2	5	15
⑤	適正な個人情報の管理ができています	6	9	0	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として職員に個人情報や身体拘束、高齢者虐待について学ぶ機会が設けられておりその事について意識をして対応にあたる事が出来ている。 ・PHS やインカムの導入により、利用者のプライバシーに配慮する言葉遣い、声掛けを実践出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者お一人お一人の生活状況などについての情報が短時間勤務や直接介護業務に関わっていない職員への説明不足や情報不足によるため。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体に利用者様の生活状況や必要なサービスについての情報が共有できる申し送り体制をつくる。 ・成年後見制度、身体拘束、高齢者虐待の勉強会を継続的に開催する。 	